

器具器械54
 一般医療機器 医科用捲綿子 10172000

シードスワブ[®] γ 2号‘栄研’

再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

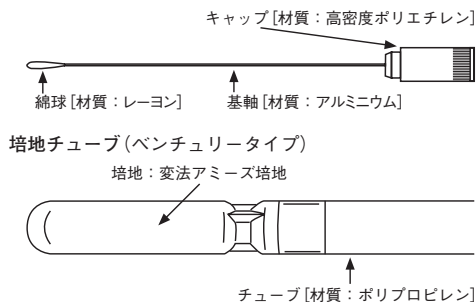
【形状・構造及び原理等】

アルミニウム軸の片側先端部に化学繊維綿を巻き付け、それをキャップに取り付けた滅菌キャップ付綿棒と、培地チューブ（ベンチュリータイプ）をセットにしたものである。

細菌試験に使用する検体（鼻腔粘液，耳漏，眼疾材料，淋疾材料，膿等）を捲綿子（滅菌キャップ付綿棒）で採取し、培地チューブに入れて保存及び輸送を行う。

本製品はγ線照射滅菌、及び窒素ガス充填包装品である。

滅菌キャップ付綿棒



変法アミーズ培地（組成：培地1,000 mLあたり）

塩化ナトリウム……3.0 g	リン酸二ナトリウム ……1.15 g
塩化カルシウム……0.1 g	リン酸一カリウム………0.2 g
塩化カリウム………0.2 g	チオグリコール酸ナトリウム ……1.0 g
塩化マグネシウム…0.1 g	活性炭 ………………10.0 g
カンテン……………7.5 g	

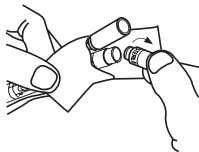
pH 7.2±

※【使用目的又は効果】

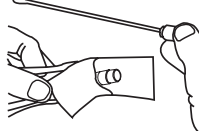
検査のための試料を採取することを目的とした器具。

【使用方法等】

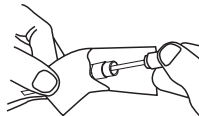
- 1) 本品の袋上部の開封口を開け、中の培地チューブのキャップをねじって開ける（キャップは廃棄する）。



- 2) 滅菌キャップ付綿棒を取り出し、検体を採取する。



- 3) 検体を採取したキャップ付綿棒を培地チューブに挿入し、キャップをしっかり閉める。



〈使用方法に関連する使用上の注意〉

- 1) 綿棒を強く押したり、過剰に折り曲げると基軸が折れる場合があるので、使用時に綿棒の基軸を折らないよう注意すること。
- 2) 鼻腔，耳等から直接採取する場合は、基軸を折損して患者を傷つけないよう十分注意すること。

【使用上の注意】

- 1) 本品の凍結及び急激な温度変化は避けること。
- 2) 製品に破損，汚れ，曲がりなどの異常を認めたときは使用しないこと。
- 3) 本品は検体採取と保存輸送以外に使用しないこと。
- 4) 綿棒による検体の採取は、十分習熟した人の指示のもとに実施すること。
- 5) 全ての検体は病原菌に汚染されているものとして、注意して取り扱うこと。
- 6) 採取後の菌の生存状況は、菌種，菌量，保存温度，輸送時間等，種々の要因によって影響を受けるので、採取した検査材料は速やかに検査すること。やむを得ず検査材料を保存する場合には、冷所で保管すること。
- 7) 検体の保存輸送の際には必ず容器を密閉すること。
- 8) 本品はγ線照射滅菌処理を施しており、γ線照射の影響で、一部綿球等が着色する場合があるが、性能等に問題はない。
- 9) 使用後は速やかに滅菌処理して廃棄すること。廃棄の際は、医療廃棄物等に関する規定や水質汚濁防止法等の各種規制に従い、各施設の責任において処理すること。

【保管方法及び有効期間等】

貯蔵方法：5～30℃（禁凍結）

有効期間：1年8ヵ月間

【包装】

製品名	包装	製品コード
シードスワブ γ 2号‘栄研’	100回分	E-MS62

【主要文献及び文献請求先】

主要文献

- 1) Amies : Can. J. Public. Health., 58 : 296, 1967.
- 2) 佐野 和三, 他 : 臨床と微生物, 30 : 417, 2003.

文献請求先

栄研化学株式会社

お客様相談窓口 フリーダイヤル ☎0120-308-421

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

栄研化学株式会社

〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地

製造業者

コパン COPAN ITALIA S.p.A. (イタリア)

製造販売元



栄研化学株式会社
 栃木県下都賀郡野木町野木143番地

製造元



COPAN ITALIA S.p.A. (イタリア)